

## シンポジウム

# 富士山を題材にした教育

日時：2012年8月5日（日） 9時30分～14時

会場：山梨県立富士ビジターセンター  
（山梨県富士河口湖町）

**参加無料 事前申込不要**

身近な教材である富士山を活かして、教科の授業をどのように魅力的なものにしていくか。また、これまで積み上げられてきた「富士山学習」の次の一手をどうするか。そして、世界遺産への登録をめざすいま、教育分野ではどのような取り組みが行われるべきか。

富士山の姉妹山であるアメリカのレーニア山では、国立公園局と周辺の学校の教師たちが連携して、山を題材にした授業開発、教員研修、教育実践を行っています。今回、アメリカの中学・高校の教師、国立公園の職員が富士山麓地域に来訪し、山を題材にした授業開発について、日本の教師とともに議論します。

アメリカではどのような授業が行われているのか？ 学校と国立公園との連携は？ アメリカの教師から見た日本の教育は？ このような新たな視点を加えながら、富士山を題材にした教育について日米両国の参加者で検討します。（通訳付き）

プログラムの詳細については下記のウェブサイトをご覧ください。

主催：富士山・レーニア山教育交流プロジェクト日本チーム

共催：アメリカ合衆国内務省国立公園局，マウンテン・インスティテュート，特定非営利活動法人富士山クラブ

後援：山梨県教育委員会，静岡県教育委員会 助成：米日財団，福武学術文化振興財団

問い合わせ先：富士山・レーニア山教育交流プロジェクト日本チーム 代表 佐藤崇徳（沼津工業高等専門学校）

電話 055-926-5756 E-mail [tsato@numazu-ct.ac.jp](mailto:tsato@numazu-ct.ac.jp)

ウェブサイト：<http://user.numazu-ct.ac.jp/~tsato/rainier-fuji/>

富士山 レーニア山

検索